



市民活動フェスタ2015in松本 ぼくらの学校 ～探そう！キミだけの〇〇～

市民活動フェスタ2015in松本「ぼくらの学校」が10月3日、4日の2日間、「あがたの森」で開催されました。今年は、若者向けのテーマということで「探そう！キミだけの〇〇」をサブテーマに、参加45団体が工夫を凝らしたブース等を企画し、1150名の市民の皆さんにお越しいただきました。

来場者数としては、昨年度と比べ半減となりましたが、参加団体から「意識の高い来場者が多かった」、「15名の新規入会があった」という声もあり、一定の課題を残しつつも、充実した「秋のイベント」となりました。

来年度の開催に向け、実行委員会で残された課題を共有し、試行錯誤しながら「ぼくらの学校」を組み立てていきたいと思えます。



松本一受けたい授業
エコ・ロケットストーブの
作り方



スマイルダンス
並木道で元気いっぱい
パフォーマンス



ビブリアバトル
白熱！知的書評合戦



自然環境・エコ
ツキノワグマの大きな糞に
興味津々！



子どもわくわくひろば
移動児童館体験
チョコレート城をみんなで築城中



販売コーナー
昼食にタイ料理やネパ
ール料理も大人気



NPO セミナー「地域創生の担い手は、あなたです。」

講演会「世の中変える」で食う方法～若年者の自立を支援する～

講師：長岡秀貴氏（認定NPO法人侍学園スクオーラ理事長）

映画『サムライ』の原作者が「地方から日本を変える」との志で日本をリードするNPOをつくるまでを語ります。

日時：1月12日(火) 13:30～15:30

会場：松本市民活動サポートセンター

定員：60名 参加費無料（託児あり）

申込み：サポートセンターまで

●フォローアップ講座（全講座 午前10時～正午）

<入門講座>全2回①1月19日(火)NPO基礎知識 ②1月26日(火)資金調達

<実践講座>全3回③2月2日(火)事業計画の立案

④2月9日(火)NPOの会計・税務 ⑤2月16日(火)広報



登録団体活動紹介カード



サポセン10周年記念事業としてご協力をお願いしていた登録内容の更新が終わり、受付窓口で閲覧できるようになりました。

さぼせん日記

サボセンしみんサロンからTシャツが誕生！

観光情報を発信する団体やボランティアガイドの皆さんが集まり、松本観光をテーマに「私たちができること」を模索してきたしみんサロン観光編のワークショップで生まれたアイデアが形となり、この度「松本マップTシャツ」として「新まつもと物語」が商品化し松本市美術館で販売を始めました。黒の地に松本の地割がお月様のように浮かび上がったデザインです。



10/30 ぼくらの学校 ふりかえりの会

先ごろ開催された市民活動フェスタの反省会があり、実行委員のメンバーが集まりました。今年は来場者からもアンケート回答をいただいております、出展者アンケートとあわせて分析し、来年度に向けての課題と提案を上げました。イベントは終わってしまうと関心が薄れてしまうものですが、むしろ、ふり返りが重要です。ここで出た意見を大切に来年へ繋いでいきたいと思います。



10/29 プラチナ出前講座

地域からのご依頼で「神田町会ふれあい昼食会」にプラチナサポーターズの柴山さんが講師として出張し「マジック笑〜マジックとかけて特殊詐欺と説く。その心は…どちらも騙されます。」を披露しました。60人余の同世代の皆さんを前に、特殊詐欺への注意喚起を面白おかしく散りばめたマジックショーで会場を沸かせました。



11/11 子育て支援団体懇談会

「みんなで支える子育て安心戦略」と題して中島恵理副知事を囲んで子育て懇談会（長野県みらい基金主催）が開かれました。参加6団体の活動紹介から「子育て支援は親支援」との共通見解と「寄り添う大人と居場所の重要性とそれを支える人材確保の難しさ」といった共通の課題があがり、それに対して中島副知事は、民も官も近くによって共に取り組む重要性を説いておられました。



支える人たち

～里山辺保育園育ジイ会 丸山 祐弘さん～

里山辺保育園を拠点に、地域のおじいちゃんで構成される「里山辺保育園育ジイ会」。会がサポートしている同保育園の焼き芋会におじゃまして、発起人の丸山さんにお話を聞かせていただきました。

一どのような活動をしているのですか？

保育園周辺の枝の剪定や草刈りのほか、運動会や焼き芋会など保育園のイベントの準備やお手伝いがメインです。最近では地域でも会の活動が認知されてきて、児童センターや教育文化センターでも活動しています。

一きっかけは何ですか？

私の孫が里山辺保育園に通っていたときに、他の子のおじいちゃんと話している中で「草刈りや準備など母親がやっていて大変そうだからお手伝いができたらいいね」という話が出たのがきっかけです。ふたりで軽くお手伝いを始めたのが今から3年前。呼びかけているうちに人数が増えて、今は13人で活動しています。

一会員は全員お孫さんが保育園に通う方々なのですか？

そういう方に限らず、里山辺地区に住むおじいちゃん達で構成されています。この活動を通して出会う前から、孫同士が同じ学校に通っていて友達だったという話も。あくまで気楽にお手伝いを続けながら、活動のときに皆でおそろいのベストを着たり、みんなでビール祭りをしたりと、仲間同士の絆も深まってきています。

一楽しくというのは大事だと思います。

ちょっとお手伝いという気持ちで、子ども達に元気をもたらしながら活動を続けています。がんばりすぎずお金もかけなくても、何かを始めることはできるんですよね。

一以前からボランティア活動をされていたんですか？

前に町会長をやっていたこともあり、地域が元気になっていくにはお年寄り子どもなど生活弱者が元気にならないと、という思いが常にありました。私たちは若い人に何かしてもらうのではなく、培ってきた技術や経験を生かして社会に奉仕していかなくちゃいけないと思っています。

一自分のできる活動を通じて地域が繋がっていくんですね。

「挨拶しましょう」なんて言わなくても自然に挨拶を交わせる、日頃の生活の中で安心して育っていけることが地域づくりの基本だと思っています。安全の面で保育園の門を閉めるのは簡単だけど、地域に開かれて支え合うことでより強力な安全につながる。これからも、地域全体で子どもたちを見守っていきたいです。

子どもたちを見守る活動が地域住民同士のコミュニケーションの場としても機能しながら、地域の日々の小さな安心を支えているんだなと感じました。（インタビュー：なかがわ）

ビブリオバトル信州

E-mail : biblioshinshu@gmail.com (代表 : 村上 優介)

URL : <http://biblioshinshu.blogspot.jp>

ビブリオバトル信州は、信州大学を拠点とし、長野県内に「ビブリオバトル」を広めるべく普及活動を行っている団体である。

「ビブリオバトル」は小学生から大人まで誰でも参加できる本の紹介ゲームで、次のルールで行われる。①お気に入りの本を持って集まり、②一人5分間で本を紹介する。③全員の紹介が終わったら、「どの本が一番読みたくなったか」を会場にいる全員で投票し、最多票を集めたものが『チャンプ本』となる。「人を通して本を知る、本を通して人を知る」がキャッチコピーのビブリオバトルは、全国的な広がりを見せている。今回は、ビブリオバトル信州代表の村上優介さんにお話を伺った。

村上さんが初めて参加したビブリオバトルは、2013年に丸善（松本店）で開催されたバトルだ。学生や一般人同士が本の魅力を限られた時間で語りぶつけ合う会場の熱気に「これはおもしろい」と惹かれ、大学の学生サークル「ビブリオバトル信州」に加入。設立当時は学内での活動が中心であったため、主な参加・観戦者は学生であったが、現在は学校や図書館、他の企画とのコラボ

手話サークル

E-mail : yuka112258@gmail.com (代表 : 清水 有香)

手話サークルは、いわゆる技術習得のための講習会とは異なるという。ではどのようなサークルなのか、この会を代表して清水有香さんにお話を伺った。

市役所の障害・生活支援課に勤務する清水さんは、業務で手話通訳者と相談に来た市民とのやりとりを見て「私も話ができるようになりたい」と、Mウイング（中央公民館主催）の手話講習会に参加した。挨拶や数字など少しずつ手話を学びながら耳が聞こえないということ想像したり、講座の中でろう者の生活について知ること、聴者中心につくられている社会に疑問を持つようになったという。そして同じ社会で共に生活していくために自分に何ができるのかを考え始めた。

そんな中、講習会で共に学んだ修了者同志で「もっと学びたい」との思いが高まり、講座主催者側の計らいもあり、次なる学びの場として手話サークルは動き始めた。趣味として手話の技術を学ぶだけではなく、ろう者の生活を学び、彼らの生活をより豊かにするために少しでも多くの人達に手話が普及することを目的に活動してい

月1回、信州大学の中央図書館で開催されているビブリオバトルの様子 →



など、数々のイベントを開催している。

読書は自分の中にインプットする行為。それに対して、ビブリオバトルは「面白かった」「気に入った」ポイントをアウトプットし、いつもと違った角度で本と関わり、「インフォーマルなコミュニケーション」を促進する。小、中学校などで自発的に開催されつつあるバトルのサポートなども行いながら、県内での認知度アップを課題としている。

ビブリオバトルは「興味」をきっかけに、見知らぬ人同士であっても、本を通し他者と自分との共通点を発見してゆく。その良さを広めたいという村上さん、メンバーの姿勢は今も活動の基軸をなしている。

「自分が読み、面白かったと思う本をみんなに伝えてみたい人は、まずは観戦からどうぞ。また、仲間内でもビブリオバトルを開催していただければと思います。ビブリオバトル信州のブログの中でも、紹介した人や本をまとめているレポートがあるので、そちらもご覧下さい」と村上さん。月に1回、信州大学の中央図書館でビブリオバトルを開催されているとのことなので、ビブリオバトルに興味のある方はぜひ一度参加を。(うみぐち)

ぼくらの学校での一コマ →



たいと考えている。

現在は学習会を月に2日、講習会で講師を務めていた聴覚障害者協会（聴障協）と共に、学習方法を模索しながらサポートセンターを会場に開いている。先日行われた「ぼくらの学校」（1ページ参照）では共にブースを出展し、ろう者の生活をクイズ形式で紹介したり、子ども達が自分の名前を手話で伝える参加型講座も開いた。「自分が手話を学び、それをコミュニケーションとして子どもと一緒に楽しめたらいい。そしてそんな家族がどんどん増えていったら社会が少し変わるのではないかと清水さんは明るい笑顔で話してくれた。次世代の子ども達にもバトンを繋いでいきたい、それが願いだ。

今後は忘年会や茶話会などを企画してメンバー相互の親睦を深めたり、聴障協主催の毎年恒例3月3日の耳の日に因んだイベントも盛り上げていきたいとのこと。学習会は見学可能。手話に興味のある方はぜひ一度見学を。(つぼね)

INFORMATION : お申込み・お問合せは各団体に直接お願い致します。



イベント・募集情報をお寄せください。

サポートセンター通信やホームページで、イベント情報や募集情報などをご紹介します。



第6回 長野県不登校を考える県民のつどい

大人のつどい、分科会、講演、キャンプファイヤー、懇親会等を通じ、子どもたちの幸せな未来をみんなで考えるつどいです。

- ◆日時：11月21日(土) 22日(日)
- ◆会場：長野県望月少年自然の家
- ◆参加費：1日500円 宿泊4000円
- ◆問合せ：上伊那子どもサポートセンター
(ながの不登校を考える県民の会事務局)
TEL 0265-76-7627
E-mail info@nagano-futoukou.net

サンタ・プロジェクト・まつもと 2015 あなたもサンタクロースになりませんか？

クリスマスを自宅で過ごすことができない子どもたちに、心をこめて「本のプレゼント」を贈ってください！
みなさんに選んでいただいた本は、私たちが責任をもって子どもたちのもとにお届けします。

- ◆購入期間：12月4日(金)～13日(日)
- ◆購入場所：ちいさいおうち書店・TSUTAYA 北松本店・平安堂あづみ野店・宮脇書店松本店・改造社書店松本駅店・たつこの書店
- ◆呼びかけ：サンタ・プロジェクト・まつもと
TEL&FAX 0263-46-2020

アースデイまつもと 秋のピクニックフェス

秋の一日を愛と平和の手作りフェスティバルと一緒に過ごしませんか？アートクラフト出展、エスニックフード出店、フリーマーケット、アースステージ、アースマルシェ(手作り体験ブース)など。

- ◆日時：11月23日(祝・月) 10:00～15:00
- ◆会場：アルウィンスタジアム東側芝生広場
- ◆入場料：無料
- ◆問合せ：アースデイまつもと実行委員会
TEL 090-1854-5305
HP <http://furimanet.com/>

NPO事務局セミナー&事務力検定 in 信州塩尻

NPOの基礎知識、各所轄庁への提出書類作成、雇用手続きと給与計算、経理事務の基礎知識などを学びます。
学んだ内容は同日開催の事務力検定で確かめましょう！

- ◆日時：12月12日(土) 9:30～16:30 受付9:00～
- ◆会場：塩尻総合文化センター 大会議室
- ◆講話者：加藤彰子氏
(岡山NPOセンター事務支援センター長)
- ◆参加費：セミナー 1000円 検定 1000円
- ◆申込み：地域活動応援チームえんのわ
E-mail: <http://ennowa.naganoblog.jp>

歌と語りのステージ 上條恒彦コンサート

- ◆日時：11月30日(月) 13:00～
- ◆会場：キッセイ文化ホール 中ホール
- ◆参加費：一般2000円 障害者割引1000円 未就学児無料
- ◆内容：第1部 障害のある仲間たちによるリレートーク
第2部 上條恒彦 歌と語りのステージ
上條恒彦さんプロフィール
歌手のほか俳優としても活躍し、数多くのテレビドラマ、映画、舞台に出演。長野県富士見町在住。
- ◆問合せ：きょうされん長野支部 コムハウス内
TEL:0263-85-4141 FAX:0263-31-3696

フォーラム 障害者権利条約ってなんだ！？

「障害者権利条約とこれからの地域のありかた」についての基調講演、権利条約の理解を深めるパネルディスカッションなど。手話通訳・要約筆記あり。

- ◆日時：12月13日(日) 13:30～16:00
- ◆会場：松本市総合社会福祉センター 大会議室
- ◆参加費：無料
- ◆講師：講師 赤松 英知氏(きょうされん常務理事)
- ◆問合せ：松本圏障害者相談支援センター
ぴあねっと・まつもと
TEL 0263-27-7211 FAX 0263-29-5020

新スタッフ紹介

まだまだ不慣れですが、頑張りますので暖かく見守ってください。よろしくお願ひします。(草間)
インターネット関連の個人事業を行っています。松本市公式観光情報ポータルサイト「新まつもと物語」の開発・運営に開設当初から携わっています。(野尻)

編集後記

寒さが増してきました。皆さま体調管理にはお気を付けてください。サポートセンターはこの度新たなスタッフを迎え、さらにみなさまの活動を後押しできるよう努めてまいります。(なかがわ)

